

三光化成株式会社 第二事業部 様

所在地 岩手県一関市
 従業員数 第二事業部 約420名
 事業内容 工業用精密プラスチック部品・金型の設計・製造・販売



支援の概要

把握した課題と目標・要望

- ・現場の若手と各工場長・幹部との間でDXの知識や認識に差がある。
- ・DXの基本知識から応用知識までを共有して、社内DXの強化を進めたい



生産性向上支援訓練
 DX対応コース

訓練後の成果

- ・DXに対する理解が深まり、各部門での取組が促進・具体化（ペーパーレスの推進、生産・品質管理の効率化等）されてきた。



DXの知識を学び社員が主体的に考えられる力を養う！

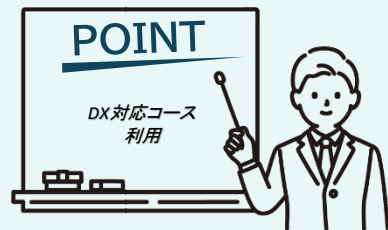
提案内容

・事業所が抱えている問題を題材とし、DX推進・運用から実践までを含めたカリキュラムを提案した。

受講した訓練：オーダーコース

コース名：「094 AI(人工知能)活用」「095 ビッグデータ活用」
 「117 DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入」
 「119 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」

実施時期：令和5年1～3月
 受講者数：各14人



利用者の声

事業主の声

Q.利用したきっかけを教えてください。

今回の訓練は製造業のDX展開事例として、各工場長、各工場幹部、次世代推進メンバーを対象とし、経営課題の可視化を目的として企画しました。

また、基本知識習得と改善内容を共有することにより改革・改善スピードを上げることも目的としました。

訓練を利用することで、各受講者が、どのような業務改善ができるか、知識をどのように活用できるか、自主的に考え、自主的に行動する意識の醸成のほか、DXを導入することで、学びの場を提供し改善意欲とスキルアップを実践すると共に、モチベーションの高い社員の育成につなげたいと期待しました。

Q.訓練を利用した効果や受講者の反応を教えてください。

DXに対する理解が深まり、各部門での取組が促進・具体化されてきています。例として社員によるシステム構築とシステム内製化、ペーパーレスの推進、生産管理・品質管理の効率化、デジタルサイネージを利用した社内啓蒙活動が挙げられます。また、訓練受講後にプロジェクトチームを編成し現場の声を可視化、VBAプログラム勉強会、過去トラブル等を含めた品質データベース構築を継続・実践しています。

受講者の声

Q.感想を教えてください。

(受講者1)

今回の訓練でDX導入から推進のプロセス、有用なスキル・ツールを知ることができ、非常に有意義でした。業務に活かすための準備につながったと思います。

今後は、訓練で学んだ内容をもとに、社員のDXリテラシー向上、教育体制の整備、業務のボトルネック分析、解決手段の検討・実行に取り組んでいきたいです。

(受講者2)

DXの全体像を理解することができました。特にDX推進における施策内容と注意事項の理解が進みました。今回学んだことは、DX推進の施策、計画立案、進捗管理及び人材育成計画の業務を行う際に活かされています。

今後は社員のDXリテラシー向上に向けた環境整備、プログラム技術力向上、人材育成を含めた改善改革を計画的に遂行していきたいです。



訓練風景